

コンテナ貿易やっています



(有)磯崎豊店
磯崎忠次郎さん

中国産の畳表を共同輸入。 初めての取り引きに猛勉強

市内の畳業者6人で協力し、この3月に中国から釜山港を經由して畳表を共同輸入。20フィートのコンテナ1本、約3,600枚分の畳表です。

畳表の主流は国産ですが、農業の後継者不足などで生産量も減り、価格が上がっているのが現状です。そこで最近、質、量、価格ともに成長している中国産の畳表に目を付けました。仲間と現地に赴き、商談をして話をまとめました。ようやく荷揚げされ、支払いはドル建ての銀行振り込み。何もかも初めてのことで、いろいろな勉強させられました(笑)。

去年の11月、スペインから釜山港を經由してタイルを輸入。横浜港での陸揚げと比べて、輸送の時間とコストが格段に違ったことに驚いています。特に横浜と秋田間の陸送代が減ったことが大きいですね。コンテナを使っていなかったときは破損も2、3割あったのに、今は1割程度で済んでいます。

おかげで割安な価格で、品質のよいスペインタイルを提供することができます。最近はインターネットを使った販売も展開中。県外からの問い合わせも多いんですよ。今後は雑貨やワインの輸入も挑戦してみたいですね。

陸送代が減った分、 安い値段で販売できます

(有)グランピア
金子裕二さん



(有)ハリス
成田育夫さん

小さい頃遊んだ秋田港。 アメリカが近くなりました

今年の3月、ロサンゼルスから釜山経由で、中古車2台とバイク1台を、初めて自前でコンテナ輸入しました。秋田港に陸揚げしたときには、本当に感激しました。コストの安さもさることながら、自分でできたという達成感、よぞ港の近くに生まれけり、という感じでしたね。

秋田に社員3人、ロサンゼルスに現地スタッフ1人という、小さな会社でもできたのですから、他の会社でもできるはず。これからは秋田港を利用し、今以上にアメリカのいろいろな物を自分の手で集め輸入してみたいですね。



三傳商事(株)
石井敬さん

ポシエット港の将来性 に、これからが正念場

ポシエット航路を使い、加工用鶏肉の輸入を始め、今月中にも、コンテナ1台分・16トンが到着する予定です。鶏肉は中国東北部の吉林省からポシエット港まで陸送し、船積みして秋田港に運びます。

中国、ロシアとは距離的に近くなりましたが、正直言って、月3便と便数が少なく不便さは否めません。しかし、ポシエット便はまだ緒についたばかり。大陸の豊富な資源を秋田港から全国に発送するなどビジネスチャンスの拡大に、これからが正念場です。

釜山の工場から 秋田市の指定ごみ袋

秋田成幸産業(株)
利部浩さん



韓国・釜山のビニール製造工場から、秋田市の指定ごみ袋を輸入しています。輸送コストを含めても、国内製品より安く仕入れることができるし、韓国の製品は品質も良いので安心です。輸入は月にコンテナ1本ぐらい。一つのコンテナに2,000箱(1箱300枚)ほど入ります。注文はファクスで行い、3週間ぐらいで品物が届きます。連絡はすべて日本語で大丈夫。支払いも円決済で、市内の銀行から振り込みなので、面倒なことはありません。